

## テーマ：高精度測位ならびに位置参照方式の現状と動向

■日時 平成28年2月24日(水)14:30~17:00 (受付開始 14:00)

■会場 東京都千代田区平河町1-3-13 ヒューリック平河町ビル6F  
日本デジタル道路地図協会 6階 大会議室

<http://www.drm.jp/company/address.html>

■定員 80名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

■参加費 無料

■参加申し込み方法

参加をご希望の方は2月19日(土)までに①参加者氏名、②会社名、所属、役職、③電話番号、④電子メールアドレスを記載し、下記メールアドレスへ参加申し込みメールをお送りください。

(担当：yokoyama@drm.or.jp)

■次第

《 開会 》

14:30 開会挨拶 (専務理事)

14:35~15:25 講演1 (質疑応答10分を含む)

「高精度衛星測位技術の現状と開発動向」

一般財団法人 衛星測位利用推進センター  
顧問 近藤 夏樹 氏

《 休憩 》

15:35~16:25 講演2 (質疑応答10分を含む)

「位置参照技術の現状と国際標準化の動向」

(株)三菱総合研究所 社会公共マネジメント研究本部  
ITSグループ主席研究員 中條 覚 氏

16:25~16:55 講演3 (質疑応答5分を含む)

「DRMに関わる道路関連情報のトピックス」

DRM協会 企画調査部長 石田 稔

16:55~17:00 閉会挨拶 (研究開発部長)

《 閉会 》

## ■主な内容

### (1) 「高精度衛星測位技術の現状と開発動向」

衛星測位の利用分野は広範囲に亘って拡大しつつあり、位置計測システムとして欠くことができない社会基盤となっている。本講演においては、①衛星測位の誤差要因と補正方式、②現用の測位補強システムの概要と測位精度（位置の品質）、③地上アプリケーションにおける課題と対策、④測位結果と地図との整合、等について紹介する。

### (2) 「位置参照技術の現状と国際標準化の動向」

位置参照技術とは、地図上に表現された地物の位置情報を、異なる地図を持つ可能性がある他主体に正しく伝えるための技術です。今回は、様々な位置参照方式の概要を説明するとともに、ISO/TC204 で検討された国際標準の概要や現在の動向について説明します。

### (3) 「DRM に関わる道路関連情報のトピックス」

道路の防災・減災、交通安全の重要性が増大しており、対策の情報基盤としてのデジタル道路地図データベースの取組を紹介する。また、円滑な道路交通、サービス向上などに向けた道路管理者の最近の取組と情報整備のトピックスを紹介する。

## ○ お問い合わせ

(一財) 日本デジタル道路地図協会 (担当 横山)  
TEL03-3222-7990  
e-mail [yokoyama@drm.or.jp](mailto:yokoyama@drm.or.jp)  
<http://www.drm.jp>